

原爆文学研究会事務局
〒814-0180 福岡市城南区七隈8-19-1
福岡大学人文学部 中野和典研究室内
tel:092-871-6631 (代表) / e-mail:nakanok@fukuoka-u.ac.jp

第54回 原爆文学研究会のご案内

時下益々ご清栄のことと存じます。第54回原爆文学研究会を下記の要領で開催いたします。皆さまには、ご多忙のことと存じますが、万障お繰り合わせの上お集まりくださいますようお願い申し上げます。

会場・資料の準備の都合もありますので、参加をご希望の方は2017年12月15日(金)までに「①研究会」「②懇親会」のそれぞれについて参加/不参加を明記して事務局にeメールかお電話でお申し込みください。

記

- 日時 2017年12月23日(土) 13:00~18:10
- 会場 広島大学東千田キャンパス〔広島市中区東千田町1-1-89〕
東千田校舎A棟1階 ~~共用講義室(S-114会議室)~~ → **2階207講義室**
(※会場を変更いたしますので、ご注意ください)

- タイムテーブル
 - 12:30 開場
 - 13:00 開会・自己紹介
 - 13:20 研究発表 ヒロシマの「荒地」 齋藤 一
——スティーブン・スペンダーの広島講演会(1958年)を中心に
 - 14:40 (休憩15分)
 - 14:55 刊行記念ワークショップ『『原爆』を読む文化事典』を読む
書評：東琢磨・権 赫泰・伊藤詔子 リプライ：川口隆行 司会：中野和典
 - 18:10 事務連絡・閉会
 - 18:30 懇親会

※ 当日は11:00より同会場にて世話人会を開催します。世話人のみなさまはご出席ください。

【趣意文】刊行記念ワークショップ『『原爆』を読む文化事典』を読む

『原爆』を読む文化事典』は本年9月に青弓社より刊行された。本書は広く〈原爆〉に関わる問題について調べ、考える手がかりを示す「読む事典」になることを企図して、編著者の川口隆行氏をはじめとする30名が全70項目を分担執筆して成ったものである。執筆者の中には本会の会員も多く、またこれまでの本会の成果が多く盛り込まれていることから、本書は本会と深いつながりを持っている。今、本書を研究会の俎上に載せ、それをクリエイティブに読むことは〈原爆〉に関わる課題を洗い出し、これからの「原爆文学研究」のあり方を考える上で有意義ではなかろうか。

本ワークショップでは会員外から『ヒロシマ・ノワール』(インパクト出版会、2014)をはじめとする多数の著書やさまざまな場において「ヒロシマ」について刺激的な発言を続けてこられた東琢磨氏、日本・韓国の論壇で原爆言説についての議論を展開し、『平和なき「平和主義」—戦後日本の思想と運動』(法政大学出版局、2016)の著者でもある権赫泰氏、会員から『ディズマル・スワンプのアメリカンルネサンス』(音羽書房鶴見書店、2017)をはじめソローに発する多くの環境文学研究書を刊行し、アメリカ文学やエコクリティシズムの視点から核に関わる問題を論じてこられた伊藤詔子氏に書評者としてご登壇いただく。書評者からの発言に本書の編著者である川口氏から応答していただいた上で、参加者全員による討論を行うことで、本書から見えてくる課題を探りたい。



- バスをご利用の方… J R 広島駅→アルパーク方面行き・広島バス(50号(東西線))→日赤前下車 徒歩約2分
- 市内電車をご利用の方… J R 広島駅→紙屋町経由広島港行 広電(1号線)→日赤病院前下車 徒歩約3分
- 広島空港をご利用の方…広島空港→広島空港リムジンバス →広島駅新幹線口行き→J R 広島駅 (※以下、上記バスまたは市内電車利用参照)

※詳細は下記のページをご覧ください。
<https://www.hiroshima-u.ac.jp/access/sendai>



広島大学東千田キャンパスマップ
(※乗用車でのご来場はご遠慮ください)